

別冊取扱説明書 緊急救援サービス説明書

通信型ドライブレコーダーユニット

TMX-DMO4-CS TMX-DMO4-CS2

目次

本書の見かた	3
緊急救援サービス	4
緊急救援サービスとは.....	4
緊急救援サービスのご利用について	4
緊急救援サービスの仕組み	4
緊急救援サービスの主な流れ	5
・ 自動コール（大衝撃を検知したとき）.....	5
・ 手動コール（急病時、あおり運転遭遇時、ロードサービス要請時など）.....	6
緊急救援サービスに関するご注意	7
緊急救援サービスの使い方	8
・ 自動コールの使い方	9
・ 手動コールの使い方	10
折り返し連絡の着信について.....	11
ステータス LED の表示について.....	11
Intelligent LED の表示について	12
録画品質 / 録画時間について	13
録画品質について（常時録画 / イベント録画共通）.....	13
・ メインカメラ.....	13
・ サブカメラ	13
常時録画の最大録画時間について	13
・ サブカメラを接続していないとき.....	13
・ サブカメラを接続しているとき（サブカメラ録画品質：[標準]）.....	14
・ サブカメラを接続しているとき（サブカメラ録画品質：[長時間]）.....	14
イベント録画について	14
ドライブサポート機能	14
衝撃と録画の関係について	15
あおり運転予防について	15
緊急救援サービスの契約状態別の動作	16
データ通信関連	16
Intelligent Pilot	16
自動コール / 手動コール	17
端末起動時.....	17
よくあるお問い合わせ（FAQ）	18
故障かな？と思ったら	19
エラーメッセージ	20
緊急救援サービスが動作したとき	20

本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
📝 メモ	操作するうえでの留意事項や、機能に関する補足について説明しています。
【〇〇】	操作に使用する端末のボタンを表します。
[〇〇]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→ P.XX の「〇〇」 (→ P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ 「〇〇」：参照箇所のタイトル

- 本書では、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、および microSDXC メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

緊急救援サービス

緊急救援サービスとは

事故や急病、またはロードサービスが必要な場合、ヘルプネット*と通話ができます。また、お車の位置情報が自動でヘルプネットに送られます。ヘルプネットのオペレーターが緊急時の状況を確認して、お客様に代わって最寄りの警察、消防、JAFなどに通報をするサービスです。

*「ヘルプネット」は株式会社日本緊急通報サービスが提供するサービス名称です。以下、ヘルプネットと記載します。

警備業法の認定 第 30002532 号

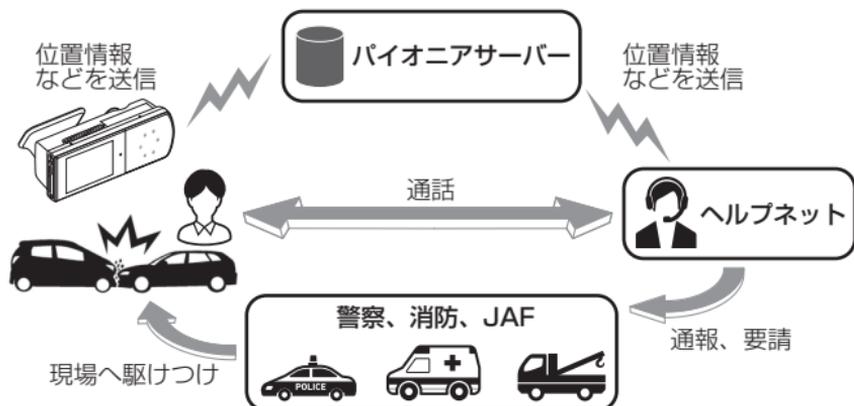
電気通信事業法の届出 回線 A-12-4001

<https://helpnet.co.jp/company/outline/>

緊急救援サービスのご利用について

- パイオニアオンラインストアで端末を購入されたお客様は、端末を取り付け後に緊急救援サービスをご利用いただけます。別途、お申し込みは必要ありません。
- パイオニアオンラインストア以外（量販店など）で端末を購入されたお客様は、緊急救援サービスを利用するための契約が必要です。パイオニアオンラインストアでお申し込みください。
URL : <https://online.pioneer.jp/>
- 緊急救援サービスは、パイオニアの専用機器でのみご利用いただけます。

緊急救援サービスの仕組み



緊急救援サービスの主な流れ

自動コール（大衝撃を検知したとき）



手動コール（急病時、あおり運転遭遇時、ロードサービス要請時など）



緊急救援サービスに関するご注意

- 本機は、装置型式認証が必要な「事故自動緊急通報装置（協定規則第144号）」ではありません。
- 通話品質は、本サービスご利用時の通信環境などにより異なります。
- 通話中はドライブレコーダーの音声記録されません。
- 本サービスは、端末動作に影響を及ぼす車両の状況や事故の状況、天候、通信環境等により、その機能が発揮できない場合があります。
- 端末は事故時の衝撃を検知して発報等を行っておりますが、確実な事故検知、事故連絡を保証するものではありません。
- 事故を検知しなかったときは端末の【緊急通知】ボタンを押してヘルプネットへ通報するか、お客様の携帯電話や公衆電話などから直接警察や消防などに通報してください。
- 誤通報やいたずら、試し押し等の救援が必要でない通報をしないでください。
＜禁止事項＞
 - － 救援が必要でない状況で、故意にドライブレコーダーに衝撃を与え、自動コールする事。
 - － 救援が必要でない状況で、故意にドライブレコーダーの緊急通報ボタンを押して、手動コールする事。
 - － コールセンターからの問いかけに対し、故意に応じない事。
- ※ 上記に該当する行為があった場合、緊急救援サービスを解約する場合があります。
- 本サービスは以下の場合、動作しません。
 - － 通信圏外の場合
 - － 電話回線が混み合っている場合
 - － 正しく取り付けられていない場合
 - － 本サービスの契約をしていない、または解約済みの場合
 - － 契約期間外
 - － アップデート中の場合
 - － 端末の故障、損傷がある場合
 - － 使用温度範囲（-10℃～+60℃）外の場合
- 事故自動検知時、または【緊急通知】ボタンを押したときの前後10秒、後5秒をイベント録画します。イベント録画ファイルにお客様の望んだ映像が映っていない場合は、常時録画ファイルをご確認ください。ただし、microSDカードへの保存可能領域の上限に達すると、日時の古い録画映像から順に上書きします。付属のmicroSDカードの録画時間は「録画品質／録画時間について」（→P.13）を参照ください。それ以上録画したいとき、あるいは上書きで録画された映像が消えることを避けたい場合は、容量の大きいmicroSDカードを使用してください。

- 本サービスは、警察、救急、消防などへの通報サービス（110、119などへの通報と同じ）であり、事故や商品などの相談対応窓口ではありません。
- 本サービスはお客様に代わって警察、消防などの関係機関に通報するサービスであり、ヘルプネットが直接救助活動を行うものではありません。
- 本サービスにおける警察、消防への通報は、一般電話、携帯電話からの通報と同様に扱われます。警察、消防への通報が優先的に取り扱われるものではありません。
- 本サービスにおいては、ドライブレコーダーからの通報が救援機関に接続するまで、一定の時間を要します。
- ヘルプネットに接続されたとしても、お客様が負う道路交通法上の措置、通報義務は免除されません。お客様ご自身の責任において、救助等の状況に応じた適切な措置が必要となります。
- 利用者、利用車両の情報変更があったときは、速やかにパイオニアオンラインストアで、登録情報を変更してください。登録された車両情報をもとに、警察、救急、ロードサービスが対象車両を現場で探す仕組みになっています。
- 本サービスは、自動車保険会社への通報サービスではありません。自動車保険会社へは直接連絡してください。
- 端末が故障などで通報できないときは、通信ドライブレコーダー サポートセンター（→P.21）へご連絡ください。

緊急救援サービスの使い方

- 端末が強い衝撃を検知した場合、自動でヘルプネットへの事故連絡が行われます（→P.9の「自動コールの使い方」）。
- 下記の場合は【緊急通知】ボタンを押すと、ヘルプネットのオペレーターと通話ができます（→P.10の「手動コールの使い方」）。
 - －「あおり運転」遭遇時や、身の危険を感じたとき
 - －車の故障などでロードサービスが必要なとき
 - －急病時
- 緊急救援サービス動作時は、お車の位置情報や走行軌跡が自動的にヘルプネットに送信されます。救援機関の要請時には救援機関にもそれらのデータが共有されます。また、事故前後の映像が自動でパイオニアサーバーへ送信されます。

自動コールの使い方

自動コールとは、端末が強い衝撃を検知して事故と判断したときに、自動でヘルプネットに連絡することです。端末を通じて通話が可能になります。



■自動コールの呼び出しを中止するとき

1 [中止] をタップします



メモ

- [中止] は、自動コール開始から 10 分後に表示されます。
- ヘルプネットとの通話中に通信圏外となった場合は、通話終了となります。
- 通信圏外で衝撃を検知した場合は、繰り返し通信を試み、通信が可能になった時点で通話が可能になります。
- 通信圏外または何らかの理由によりヘルプネットへ連絡できない場合は、お客様の携帯電話や公衆電話などで直接警察や消防などに通報してください。

手動コールの使い方

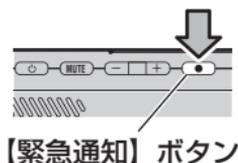
- 「あおり運転」遭遇時や、身の危険を感じたとき
- 車の故障などでロードサービスが必要なとき
- 急病時

手動コールとは、端末の【緊急通知】ボタンを押してヘルプネットに連絡することです。運転中や停車中に関わらず、ヘルプネットのオペレーターとハンズフリーで通話できます。



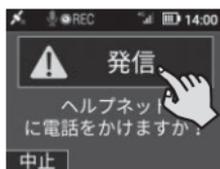
1 【緊急通知】ボタンを押します

手順2の確認画面が表示されます。



2 ヘルプネットへ連絡するときは [発信] をタップするか、再度【緊急通知】ボタンを押します

ヘルプネットと通話が始まるまでお待ちください。



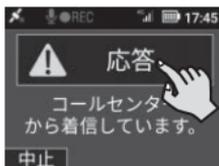
メモ

- ヘルプネットへの呼び出し連絡を中止する場合は [中止] をタップしてください。[発信] をタップ後の画面では、[中止] は手動コール開始から10分後に表示されます。
- ヘルプネットとの通話中に通信圏外となった場合は、通話終了となります。
- 通信圏外または何らかの理由によりヘルプネットへ連絡できない場合は、お客様の携帯電話や公衆電話などで直接警察や消防などに通報してください。

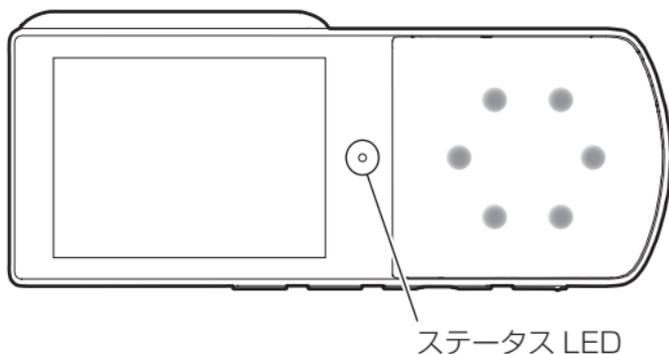
折り返し連絡の着信について

自動コール / 手動コールの通話終了後、ヘルプネットや救援機関から折り返し連絡を差し上げる場合があります。

通話終了後 60 分以内に着信があったときは、端末が自動で応答し、通話が始まります。60 分経過以降に着信があったときは、着信中画面の [応答] をタップすると通話が始まります。運転中で電話に応答できない場合は、運転に支障をきたさない範囲で [中止] をタップして、[はい] を選んでください。



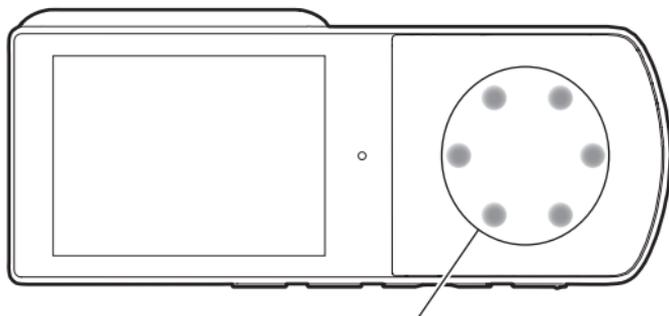
ステータス LED の表示について



取扱説明書の記載以外に下記の場合も、端末の状態をステータス LED の表示で確認できます。

端末の状態	LED 表示
ヘルプネットへ発信中	赤点滅 (早い)
ヘルプネットと通話中	
折り返し連絡の着信待受中	
折り返し連絡の着信中	

Intelligent LED の表示について



Intelligent LED

取扱説明書の記載以外に下記の場合も、端末の状態を Intelligent LED の表示で確認できます。

端末の状態	LED 表示
ヘルプネットへ発信中	赤点滅（早い）
ヘルプネットと通話中	
折り返し連絡の着信中	

録画品質 / 録画時間について

録画品質について（常時録画 / イベント録画共通）

メインカメラ

高画質	1 920 x 1 080 ドット、16.0 Mbps、23 fps
標準	1 280 x 720 ドット、5.0 Mbps、16 fps
長時間	640 x 480 ドット、0.8 Mbps、7 fps

サブカメラ

標準	640 x 480 ドット、1.6 Mbps、30 fps
長時間	640 x 480 ドット、1.0 Mbps、30 fps

常時録画の最大録画時間について

microSD カードと常時録画における最大録画時間の参考値は次のとおりです。同梱の microSD カード（16 GB）では録画時間が足りない場合は、別途 microSD カードをご用意ください。

下記値は目安で、絶対保証値ではありません。
周囲の景色や明るさ、運転の状態によって異なります。

メモ

- 外部接続カメラをご利用にならない場合は、「常時録画設定」と「イベント録画設定」を「メインカメラ」へ変更して、外部接続カメラ（サブカメラ）の録画を無効にしてください。

サブカメラを接続していないとき

microSD カード 容量	常時録画可能時間		
	高画質	標準	長時間
16 GB	約 1 時間 25 分	約 4 時間 40 分	約 29 時間
32 GB	約 3 時間 30 分	約 11 時間	約 71 時間
64 GB	約 7 時間 40 分	約 24 時間	約 151 時間
128 GB	約 16 時間	約 50 時間	約 315 時間
256 GB	約 32 時間	約 103 時間	約 645 時間
512 GB	約 66 時間	約 210 時間	約 1310 時間

サブカメラを接続しているとき (サブカメラ録画品質: [標準])

microSD カード 容量	常時録画可能時間		
	高画質	標準	長時間
16 GB	約 1 時間 15 分	約 3 時間 30 分	約 9 時間 50 分
32 GB	約 3 時間 10 分	約 8 時間 30 分	約 24 時間
64 GB	約 6 時間 50 分	約 18 時間	約 51 時間
128 GB	約 14 時間	約 37 時間	約 106 時間
256 GB	約 29 時間	約 77 時間	約 215 時間
512 GB	約 60 時間	約 155 時間	約 440 時間

サブカメラを接続しているとき (サブカメラ録画品質: [長時間])

microSD カード 容量	常時録画可能時間		
	高画質	標準	長時間
16 GB	約 1 時間 20 分	約 3 時間 50 分	約 13 時間
32 GB	約 3 時間 20 分	約 9 時間 10 分	約 32 時間
64 GB	約 7 時間 10 分	約 19 時間	約 67 時間
128 GB	約 15 時間	約 41 時間	約 140 時間
256 GB	約 30 時間	約 85 時間	約 285 時間
512 GB	約 62 時間	約 170 時間	約 580 時間

イベント録画について

イベント録画は、以下の表の設定で動作します。

録画時間	イベント発生前 10 秒 / イベント発生後 5 秒
最大録画件数	100 件

ドライブサポート機能

時限ロック機能には対応していません。

衝撃と録画の関係について

端末の映像記録機能は以下の表のように、端末の衝撃検知と連動して動作します。詳しくは各機能をご確認ください。

検知レベル	イベント	画面表示	想定する場面	録画の種類	時限ロック
5	自動コール		エアバッグが作動するレベルの衝撃のとき	イベント録画	720時間
4	衝撃検知		ロードサービスが必要な衝撃のとき		
3			自走は可能だが、衝撃の要因の録画が必要なとき		
2	危険運転警告		事故につながる可能性があった危険運転のとき		
1			事故が発生しないように走行することが望ましいとき	常時録画のみ	—

本モデルでは、「衝撃検知感度」を、1～5の間で選択いただけます（取扱説明書の「センサー通知設定」を参照ください）。

あおり運転予防について

本モデルのお買い上げ時の前方車両接近警告の警告モードは、「あおり運転予防」となります。「前方車両接近警告」をお使いいただく場合は、警告モードを切り換えてください。

緊急救援サービスの契約状態別の動作

緊急救援サービスの契約前 / 解約後は、データ通信および通信機能をご利用になれないため、下記のように契約中とは端末の動作が異なります。

メモ

- 解約後、継続して端末をご利用になる場合は、解約月の翌月にドライブレコーダーの電源をオンしてください。これにより、通信機能以外を継続してご利用いただける設定を行います。

データ通信関連

	契約前	契約中	解約後
キャリア電波強度表示 *1			
各種設定 > 端末情報 > SIM ステータス > サービスの状態	圏外	圏内	圏外
各種設定 > 端末情報 > SIM ステータス > ネットワークの状態	—	接続	—

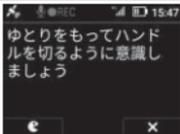
* 1 ■ 緊急救援サービス契約前 / 解約後

SIM カードが挿入されていれば、アンテナバーは表示されます。

■ 緊急救援サービス契約中

回線状況によりアンテナバーと [3G]、または [4G] が表示されます。

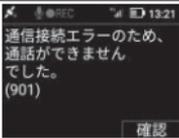
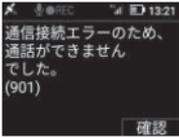
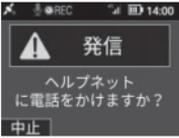
Intelligent Pilot

	契約前	契約中	解約後
ユアメッセージ *2	非表示		非表示
ユアアラート *2	非表示		非表示

* 2 ■ 緊急救援サービス契約前 / 解約後

ユアメッセージ / ユアアラートは、ご利用になれません (画面は表示されません)。

自動コール / 手動コール

	契約前	契約中	解約後
検知レベル 5*3			
緊急通知ボタン*4			

* 3 ■ 緊急救援サービス契約前

自動コールはご利用になれません。発信画面が表示されますが、「通話ができませんでした」と表示されます（イベント録画は動作します）。

■ 緊急救援サービス解約後

自動コールはご利用になれません。発信画面は表示されず、検知レベル 3/4 同様に、衝撃検知画面が表示されます（イベント録画は動作します）。

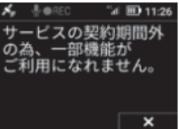
* 4 ■ 緊急救援サービス契約前

手動コールはご利用になれません。発信画面が表示されますが、「通話ができませんでした」と表示されます（イベント録画は動作します）。

■ 緊急救援サービス解約後

手動コールはご利用になれません。発信画面は表示されず、手動録画面が表示され、イベント録画が実行されます。

端末起動時

	契約前	契約中	解約後
サービスの契約期間*5	非表示	非表示	

* 5 ■ 緊急救援サービス解約後

データ通信および通信機能がご利用にならないことを表す画面が表示されます。

よくあるお問い合わせ (FAQ)

Q 自動的に事故連絡がなされなかったのですが、どうすればよいのでしょうか？

A 事故の衝撃が小さく、検知できなかったものと思われます。なお、常時録画機能は動作をしていますので、もう1度【緊急通知】ボタンを押すか、お客様の携帯電話または公衆電話などから警察、救急、消防、ロードサービスに直接連絡してください。また、映像の上書きを防ぐため、最大録画時間 (→P.13) 以内に端末の電源を切ってから microSD カードを取り外してください。

Q 誤って「自動コール」や「手動コール」画面をキャンセルしてしまったのですが、どうすればよいのでしょうか？

A もう1度【緊急通知】ボタンを押すか、お客様の携帯電話または公衆電話などから警察、救急、消防、ロードサービスに直接連絡してください。

故障かな？と思ったら

端末の電源がオンの状態で、一度お車の電源を切って、再度エンジンをかけてから以下をご確認ください。それでも解決しないときは、通信ドライブレコーダー サポートセンター（→P.21）へご連絡ください。

症状 音声記録されていません。

処置 通話中はドライブレコーダーの音声記録されません。

処置 【マイクミュート】ボタンを押して、マイクのミュートを解除してください。

エラーメッセージ

ご利用中に以下のエラーメッセージが表示または音声出力された場合は下記をご確認ください。

緊急救援サービスが動作したとき

「システムが混み合っており、コールセンターとの通信ができませんでした。」

「通信接続エラーのため通話ができませんでした。」

原因 一時的なシステムの不具合の可能性があります。

処置 お客様の携帯電話や公衆電話などで直接警察や消防などに通報してください。端末に異常はありません。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知
にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談

通信ドライブレコーダー サポートセンター

■バイオニアオンラインストア

受付時間、よくある質問などはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/pioneeronline/support/recorder/tmx-dm04-cs/>

■電話 **0120-599-890**(無料)



修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障か
どうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト

受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7550**(IP電話・有料)

または **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)

■ファックス **0120-5-81029**(無料)



部品のご購入についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

●部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

■部品受注サイト

受付時間、FAXでのご注文はホームページをご確認ください

<https://pioneer.jp/rd/support/purpose/parts/>

■電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料)

【携帯電話・PHSから】 **050-3820-7551**(IP電話・有料)

または **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)

■ファックス **0120-5-81096**(無料)



記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

製造元

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

< KASZ21C > < CYR1286-B >